

令和4年度 第4回 都田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1 開催日時 令和5年2月17日(金)10時15分から12時15分まで

2 開催場所 都田小学校 会議室

3 出席委員 小林宗吉、山下英治、波多野千津子、
森上茂美、鈴木智江、影山善久、木宮敬信

4 欠席委員 鈴木崇司、桐生大輔、富田三枝子

5 学 校 伊藤美香(校長)、井島健蔵(教頭)、
鈴木敬子(CSディレクター)

6 教育委員会 小川誠司(教育総務課)

7 傍聴者 なし

8 協議事項

- (1) 令和5年度の学校運営基本方針について
- (2) 学校運営協議会自己評価について

9 会議録作成者 鈴木敬子(CSディレクター)

10 会議記録

司会の井島教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、今回の議長の選出について委員に意見を求めたところ森上委員が推挙され、全員異議なくこれを承認した。

(2) 令和5年度学校経営構想の承認と協議会の自己評価について

6年生を送る会を参観の後、別紙資料に基づき、校長より学校経営構想の説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・6年生を送る会を見て、子ども達が全面に出ているが、その裏に先生の細かい指導があり、経営目標ができていると感じた。(森上委員)
- ・キャリア教育は将来必要とか役に立つかどうかで判断するのではなく、広い意味での人間力をつけるために学びの意欲を持たせることが必要。小学生には必要でないこともたくさん学ばせることも大切。(木宮委員)
- ・国の方針の今までのものを発展させる令和の日本型学校教育とは、どうしていくことなのか難しい。今学んでほしいこと、学ばないといけないこと、興味を持ってても持てなくても必要であることは学ばせることも大事。校内研修では、学習意欲を持たせることに主眼を置くことは良いこと。子どもが積極的意欲的にできている。(智江委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・できた。(小林委員)
- ・研修に参加したことは良かった。分析が良く、丁寧に説明がされ研修成果も共感できた。(智江委員)
- ・分かりやすく理解ができた。協議会では積極的に意見が出るようになり、良い雰囲気が出てきた。(影山委員)

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・コロナ禍であっても、できることを選びながらなされている。今年は学習発表会ができた。児童の学びの機会も増えてきた。ただ、競争・切磋琢磨という点では子どもの人数が少ないため劣るが、表現力が豊かになり、育ってきている。河西訓導碑については、災害遺産として認定され、学校の取組が評価されている。一つの柱として継続してほしい。(波多野委員)
- ・学校運営に資する活動という部分ではまだまだである。(影山委員)

<評価項目3>今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・協議会があることで先生方の仕事が増えていく感じがする。負担にならず、手伝えることが増えていく方向性にしたい。(智江・森上委員)
- ・河西訓導の命を大切にする教育は継続をしてほしい。(山下委員)
- ・協議会が学校を評価する立場ではなく、共につくっていく側面が出ていき強調されると良い。(木宮委員)

(3) その他報告事項等

- ・学校いじめ基本方針について
- ・夢やらまいか事業について
- ・学校支援コーディネーターより絵手紙について

それぞれ報告があった。

司会から

今年度で鈴木崇司委員・富田三枝子委員が退任する。

来年度第1回は令和5年5月12日午後1時から会議室で開催する旨の報告があった。